



学校を子供たちが安心できる場所にするために

※5月21日に行われた運動会開会式での、保護者に向けた校長挨拶の内容に、補足説明を加えて紹介いたします。運動会は、本来であれば、保護者だけでなく地域の皆様の前で挨拶を申し上げる機会ですが、今年の運動会にも地域の皆様をお招きすることができず、残念でした。今は厳しい状況が続いていますが、学校はこれからも、地域と共にあります。今後とも、郡山小学校を、どうぞよろしく願いいたします。

よく、「学校」と「保護者」との関係が大切だと言われますが、私は、学校と保護者という、制度的、立場的なものではなく、教職員と保護者が、一人の人間と人間、人と人との関係を築くことが大切だと思っています。

子供も教職員も保護者も地域の方々も、挨拶を交わすことから始まり、お互いに知り合い、心を通わせ合うことができる。学校を、そんな温かい場所にしたいと思っています。

今年度、教職員は、これまでになく、益々若返りました。これは仙台市全体の傾向ですが、多くの若く経験の浅い教職員と、わずかなベテラン教職員が、心と力を合わせて職務にあたっています。

若い教職員に対しては、自分も通ってきた道だとは感じながらも、校長として指導が必要なこともあります。保護者から教職員に対する要望や不満も、当然あると思います。若い教職員に限らず、行き届かないこともあるかと思いますが、お気づきの点は随時私に教えていただき、指導改善に努めて参ります。

私たち教職員は、職責を深く自覚し、ご要望等を謙虚に受け入れて常に自らを振り返り、自らを律しながら職務にあたらなければなりません。大切な子供たちを中心に据えた学校における人間関係は、「保護者から教職員への要望」というような一方通行のものであってはいけないと思います。

校長である私にとって、最も大切なのは子供たちですが、その保護者の皆様も、支えていただいている地域の皆様もとても大切です。日々、問題行動も含めて子供たちのための指導に奮闘している教職員も、掛け替えのない大切な存在です。

人は（子供も保護者も地域の方も教職員も皆）、一人一人は弱く脆く傷つきやすく、しかし温かい心を持った存在です。そんな「人と人」同士が、お互いの立場を理解し合い、お互いに相手を思いやりながら接することで初めて、学校は、子供たちが安心できる優しく温かい場所になるのだと思います。

常に「子供たちのため」を第一に考え、保護者と地域の皆様と教職員が、そのための温かい関係を築いていくために、これからも相互理解と協力を進めて参ります。

児童の皆さん、郡山小学校の保護者や地域の方々は、皆さんのことを大切に思い、協力し合っている人ばかりです。感謝を忘れず、この郡山小学校で、安心して思う存分勉強し、力を伸ばしてください。今日の運動会も、そんな感謝の気持ちを込めて頑張りましょう！！

..... 切り取り線

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいこと など

2022年5月27日（ ）年（ ）組 児童氏名

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp（校長直通）